

消防士長 森 大輔
消防士 河野丈太郎

平成30年3月8日、東淀川区の介護老人保健施設で発生した救急事案において、救命連携活動隊として出場し、看護師により胸骨圧迫が行われている傷病者に対して、速やかに胸骨圧迫を引き継ぐとともに、BVMによる人工呼吸、AEDによる解析を継続して行い、自発呼吸及び自己心拍の再開を確認した。さらに、後着した救急隊へ適切に傷病者を引き継ぐとともに、搬送動線を確認するなど、迅速かつ的確に救命処置を実施した功績による。

火災原因調査

西消防署

1部江戸堀小型タンク小隊
消防司令 城後 勝博
消防司令補 中野 雅博
消防司令補 藤原 健悟

西区の事務所建物の電気室から出火した調査活動において、出火時、JR大阪駅など北区及び中央区で停電が発生した事案であり、当初、出火原因について不明な点が多く、再三の

聞き込みを行った結果、電気精密点検中に出火した火災と判明した。その要因として電力会社と事務所建物工事関係者の相互の連絡体制に関することと判明し、両社に対して事故の重大性を説明するとともに、粘り強い指導を繰り返す行い、火災予防への理解を得ること及び再発防止対策を講じることなど、類似火災の防止に寄与した功績による。

救急活動

旭消防署 1部旭救急隊
消防司令 横川 佳史

消防士長 豊田 竜児
消防士長 増田 傑
東淀川消防署

1部豊里小型タンク小隊
消防司令 小東 峰昭
消防司令補 松下 弘和
消防士長 花村 泰志
消防士 小野 紘幸

平成30年3月8日、東淀川区の共同住宅で発生した救急事案において、家族により胸骨圧迫が行われている傷病者に対し、速やかに胸骨圧迫を

引き継ぐとともに、救命連携活動隊と協力して、BVMによる人工呼吸及び除細動器による除細動を行い、気管挿管及び薬剤投与を実施し、自己心拍の再開を確認した。車内収容時に再度心肺停止となるも、CPR及び薬剤投与を継続して行い、再度、自己心拍の再開を認めたため、傷病者管理を適切に行い救急搬送し医師に引き継ぐなど、迅速かつ的確に救命処置を実施した功績による。

救急活動

住之江消防署 2部住之江小型タンク小隊
消防司令 片野田雅哉

消防士長 中谷 吉成
消防士 北川 瞬
消防士 田松 一晃
(現：北消防署)

平成30年3月18日、住之江区の路上で発生した救急事案において、救命連携活動隊として出場し、通行人により胸骨圧迫が行われている傷病者に対し、速やかに胸骨圧迫を引き継ぐとともに、BVMによる人工呼吸及びAED

による除細動を行い、CPRを継続して行い、自発呼吸及び自己心拍の再開を確認した。後着の救急隊へ速やかに情報伝達し適切に引き継ぐとともに、車内収容までの搬送動線を確認するなど、迅速かつ的確に救命処置を実施した功績による。

火災現場における救助活動

鶴見消防署 2部鶴見救助隊
消防司令 渡慶次達夫
消防司令補 中尾 芳隆
消防士長 源常 涼太
消防士 米田 祐希

2部鶴見小型タンク小隊
消防司令補 手嶋 康智
消防士長 柏原 純
消防士 前田 伶奈
消防士 幸田 楓真

平成30年4月9日、鶴見区の共同住宅で発生した火災現場において、出火建物8階のベランダより幼児が噴煙の中で助けを求め、他の開口部からは火炎が噴出している緊迫した状況下、一刻の猶予も許されない中で時機を失することなく、玄関から進入し、濃煙熱気の中、消火隊と協力してベラ